



よいことの
ために
手をとりあおう



2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度
会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1 6 1 3 回 移動例会/藤枝総合運動公園サッカー場

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、今年度初めての移動例会（職場訪問例会）です。

この例会を開催するにあたりまして、中村博史奉仕プロジェクト委員長、佐野博己職業奉仕小委員長には、企画から実施までご尽力いただき、感謝いたします。ここ、藤枝総合運動公園は 藤枝市が管理する都市公園（運動公園）で、指定管理者制度により現在は、藤枝市サッカー協会グループが運営に当たっており、サッカー専用グラウンドは、日本プロサッカーリーグ（J2 リーグ）に所属する藤枝 MYFC がメインスタジアムとして使用しております。

藤枝総合運動公園の施設は、2002 FIFA ワールドカップ日韓大会でのセネガル代表の事前キャンプ地として、2002 年 5 月に開設されました。翌年の 2003 年に開催された第 58 回国民体育大会（NEW!!わかふじ国体）の会場となり、2005 年にグランドゴルフ場が開設され、2014 年に野球場、2016 年 3 月は人工芝広場を開設し、2017 年 3 月に人工芝広場の証明設置、2023 年 3 月には、スケ

ートパークの初心者エリアの増設、2024 年 1 月には、バックスタンドが新設され、収容人員は、13,000 人となりました。

今回この総合運動公園を移動例会の会場に選んだのは、この運動公園が、藤枝市の必要な「防災拠点」として改修が進んでいるとの話を伺ったからです。

平常時には、「スポーツ交流拠点」としての機能を有し、大規模災害時には、「防災備蓄拠点・緊急避難場所」として位置づけられております。

有事の際には、「野球場」はヘリポートとして、「サッカー場」は消防救援集結地として、「バックスタンド」は、被災した地域住民の 指定緊急避難所として活用され、「電光掲示板」は、被災情報の支援や支援物資・水防情報等の防災情報を明確に発信するなどの支援設備を有しておりますので、避難時の状況を想定しながら施設見学をしていただければ幸いです。このスタジアム施設入り口には、将来建設予定の施設の全体計画が展示してありますので、ご覧いただければと思います。最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。



出席報告

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
37/48 77.08%	43/48 89.58%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○伊藤彰君○江崎君○川口君○小嶋君
○佐野芳君○鈴木健君○早川君○増田君
○松浦君○森竹君○渡辺哲君

(1)メイクアップ者

飯田敏之君(ホリタ) 佐野博己君(IM)

富澤静雄君(藤枝) 渡辺哲朗君(藤枝)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
37	37	0	5

パーフェクト例会数: 😊😊😊😊😊😊

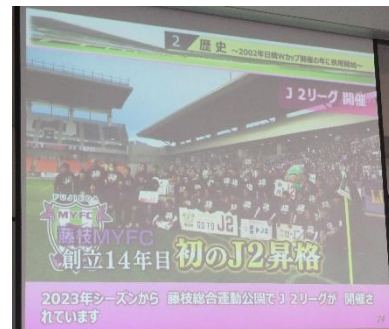
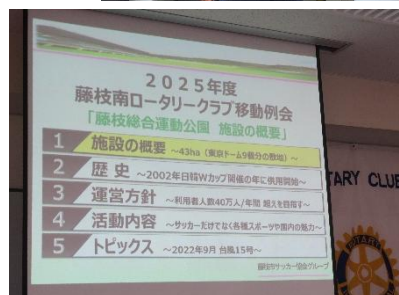
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

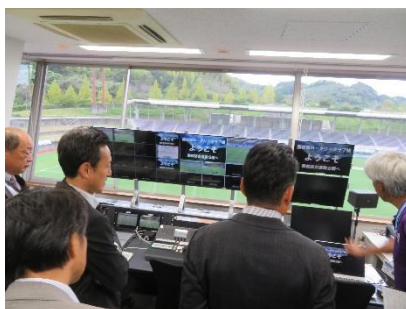
例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/24(金) 第 1614 回	会員卓話	小杉苑
10/31(金) 第 1615 回	早朝例会	
11/7(金) 第 1616 回	会員卓話	理事会
11/14(金) 第 1617 回	移動例会	アジカン音楽 スタジオ

外部卓話

東海ガス㈱ 大石直人様





(担当/秋谷貴也君)

ハンガリーに来てちょうど一か月が経ちました。この間にたくさんの発見があったので紹介します。最近の学校ではクラスに少しずつ馴染めるようになり、男子とも上手くコミュニケーションを取れるようになってきました。ですが、相変わらず男子はとても賑やかです。先生によると、このクラスの男子だけが学校の中で特にうるさいそうです。女子は落ち着いた人が多く、みんな優しいです。最初の頃はほとんどの男子が自分にあまり興味を示さず、とても寂しい思いをしました。しかし、ハンガリーの大学に通っていたこうたろう君に聞いたところ、「ハンガリーの人とはあまり外交的ではなく、ハンガリー人同士でもあまり仲が良くないことがある」と教えてくれて、少し納得しました。仲良くなるきっかけは、少し意外なことでした。ある男子がハンガリー語の悪口を教えてくれ、それを復唱したらとても楽しそうにしてくれて、そこから輪に入ることができました。それが僕のことを知ってもらうきっかけになりました。

また、男子にリスペクトがあまりない理由をホストマザーに尋ねたところ、「それが普通で、自分を優先する人が多い」と教えてくれました。「尊敬はなくても信頼はある」と言っていたのが印象的でした。

先生と生徒の関係も日本とは少し違います。ハンガリーでは先生を家族のように考える人が多く、親には相談しづらいことを先生に相談したり、困ったことがあるとまず先生に話したりするそうです。とても親密な関係だと感じました。

ハンガリー語の授業の時間は別のクラスで英語の授業を受けています。彼らはみな 14 歳ですが、とてもフレンドリーです。この 1 か月で年齢に関係なく多くの友達ができました。

この学校は毎日体育があり、外のフットサルコートで毎回サッカーをしています。また週に一度、ダンスと美術の授業もあります。ダンスでは先生の動きを真似しながら練習し、その後に男女で踊るという形です。

学校には学食もありますが、食べてみたところ自分の口にはあまり合いませんでした。毎日献立があり、無料でスープとリンゴがつきます。

また、週に一度マンツーマンで英語の授業を受けています。この学校では生徒が月に 15 時間のボランティアを行う決まりがあり、その時間を使って生徒が僕にハンガリー語を教えてくれることになりました。学校からのサポートはとてもしっかりしています。

日常生活では食事に困ることはほとんどありません。特にお肉がとても美味しく、毎日食べています。ハンガリーではお米に塩をかけて食べる人も多いそうです。昼食が一日の中で一番大きな食事です、まずスープを食べてからメインを食べます。スープとメインを同時に食べることはあまりないそうです。

スープには多くのスパイスが使われており、家には 20 種類ほどのスパイスの瓶が並んでいました。平日の昼はホストマザーがサンドイッチを作ってくださいます。また、学校から帰ってすぐに食事をすることもあり、日本のように三食の時間が決まっているわけではないと感じました。

9 月 20 日にはロータリーの活動で、ハンガリーに来ている留学生たちとキャンプを行いました。参加者は約 20 人で、アメリカ、メキシコ、アルゼンチン、ブラジル、台湾などから来ており、南アメリカの留学生が多かったです。

キャンプは 2 日間行われ、1 日目は夕食を共にし、自己紹介を兼ねたプログラムを行って自由に話しました。その後、男子 4 人でキャビンに泊まりました。2 日目はドナウ川で泳ぎましたが、とても寒かったです。その後はアジア出身の留学生で集まり、ハンガリーで感じたことを共有しました。夜にはかくれんぼやカラオケをして、とても充実した 2 日間でした。

他の留学生は皆優しく、個性的で面白い人たちばかりでした。日本人やハンガリー人とは違う考え方や雰囲気を感じることができ、とても良い経験になりました。例えば、近くで別のグループがサッカーをしていた時、アメリカの子が「一緒にやろう」と声をかけ、実際に混ざってプレーしました。こうした行動力の大切さを実感しました。

最近は週4回、サッカーの練習にも参加しています。水曜日と休日は休みで、今後は試合にも出る予定です。練習が多いため、勉強への影響が出ないか少し心配しています。

休日にはロータリアンの方に誘われてハイキングに参加し、約40km歩きました。そこで出会った先生と仲良くなり、その方の学校（バイリンガル校）を訪問できることになりました。その学校では日本語を専攻している生徒がいるそうで、ハンガリーで日本語を話す機会ができるとは思っていなかったもので、とても嬉しいです。自然の中で多くの人と話すことができ、貴重な経験になりました。

また、ホストマザーの妹の友達の娘さんが日本文化に興味を持っており、会う機会がありました。その家族は日本に3回訪れたことがあるそうで、日本人としてとても嬉しく感じました。一緒にラーメンを食べに行った道中で車が故障してしまったのですが、多くの人が声をかけて助けてくれ、この町の人々の優しさを実感しました。とても有意義な時間でした。

ハンガリー語の文法はある程度理解できるようになってきましたが、語彙がまだまだ少ないと感じています。次の1か月は語彙の習得に力を入れたいです。家や学校にある身近なものを調べたり、ホストファミリーや友達に聞いたりして、単語を覚えるようにしています。発音は「r」以外はほとんど正しくできるようになりました。

ホストファミリーとの関係は良好ですが、両親とも忙しく、話しかけるタイミングや会話の内容に悩むことがあります。また、自分の感情を表現するのが難しく、内気になってしまうこともあります。これから少しずつ改善していきたいと思います。

この週末にハンガリーの伝統料理「ランゴシュ」を食べました。一人前の量がとても多く、途中で少し飽きてしまいましたが、とても美味しかったです。

次の1か月では、日常生活の中でできるだけハンガリー語を使い、この1か月で学んだ「自分から挑戦する勇気」を実践していきたいです。友達や家族、先生など多くの人と関わりながら、さまざまなことに興味を持って挑戦を続けていきます。





マーティー・ベンツェ君の毎日



10.11(土) 7:50 ベンツェ君を迎えに若林邸へ。翌日の登山に備えトレッキングシューズを買いに新静岡セノバでショッピングを計画。

悪天もあり、午前中は日本のポップカルチャー、映画「チェンソーマン/レゼ篇」を鑑賞。昼食を挟んで午後は靴探し、4件を渡り歩き念願の靴を購入。これで登山装備は整った。翌日の登山に備えこの日は杉浦邸に前泊、家族に挨拶、仏壇に線香をあげ、夕食を共にした。メニューはカレーに揚げ物、サラダを少々、食後にはスタバのコーヒーとデザート。入浴後、早々に就寝。

翌日は深夜1:30起床だ。

翌12(日) 深夜2:00 藤枝を出発。同行者は私の同級生登山メンバー、総勢5名。現地、長野県木曽駒ヶ岳駐車場着は5:00。ここまでは順調だったが、行楽シーズンとも重なり超激混み！バス2.5時間待ち、ロープウェイ1時間待ち、実際の登山開始は9:00過ぎ。心配された天候はロープウェイ乗り場(標高2610m)までは晴れ、その後標高が上がるにつれて雲の中へ、千畳敷ロープウェイ駅からいよいよ登山開始。標高2700m地点での気温は10度、最初の30分は難関の急傾斜。途中、宝剣山荘で豚汁を食し小休止、その後中岳を経て約2.5時間が経過、そして目標としていた「日本百名山の木曽駒ヶ岳」山頂(2956m)にも無事登頂。山頂の気温は強風もあり体感3~5度。期待された絶景は霧中に消された。その後は特別天然記念物の雷鳥の歓迎を受け、和やかな雰囲気の中、下山へ。しかし、下りのロープウェイは2時間待ち。ここにきて疲れと軽い高山病と思われる症状がメンバー全員を襲い、命からがらロープウェイに16:30分乗車、以後30分のバス移動を経て出発地点の駐車場に17:30分に到着。下界の気温は20度。

ここから夕食？昼食？名物「明治亭のソースカツ丼」に舌鼓。やっと腹が満たされ、気分も再び高揚。18:30「早太郎温泉こまくさの湯」に入湯。冷え切った体を温め、疲れを癒し、温泉の所作を学び、予定は大幅に崩れたが、全ての工程を終え20:00帰路へ。途中諏訪湖サービスエリアで夜景を眺め、土産品も購入。藤枝到着は23:30。ベンツェ君24:00杉浦邸2度目の就寝。本当に明るく元気よく頑張った！ ケセネム！（ありがとう）

